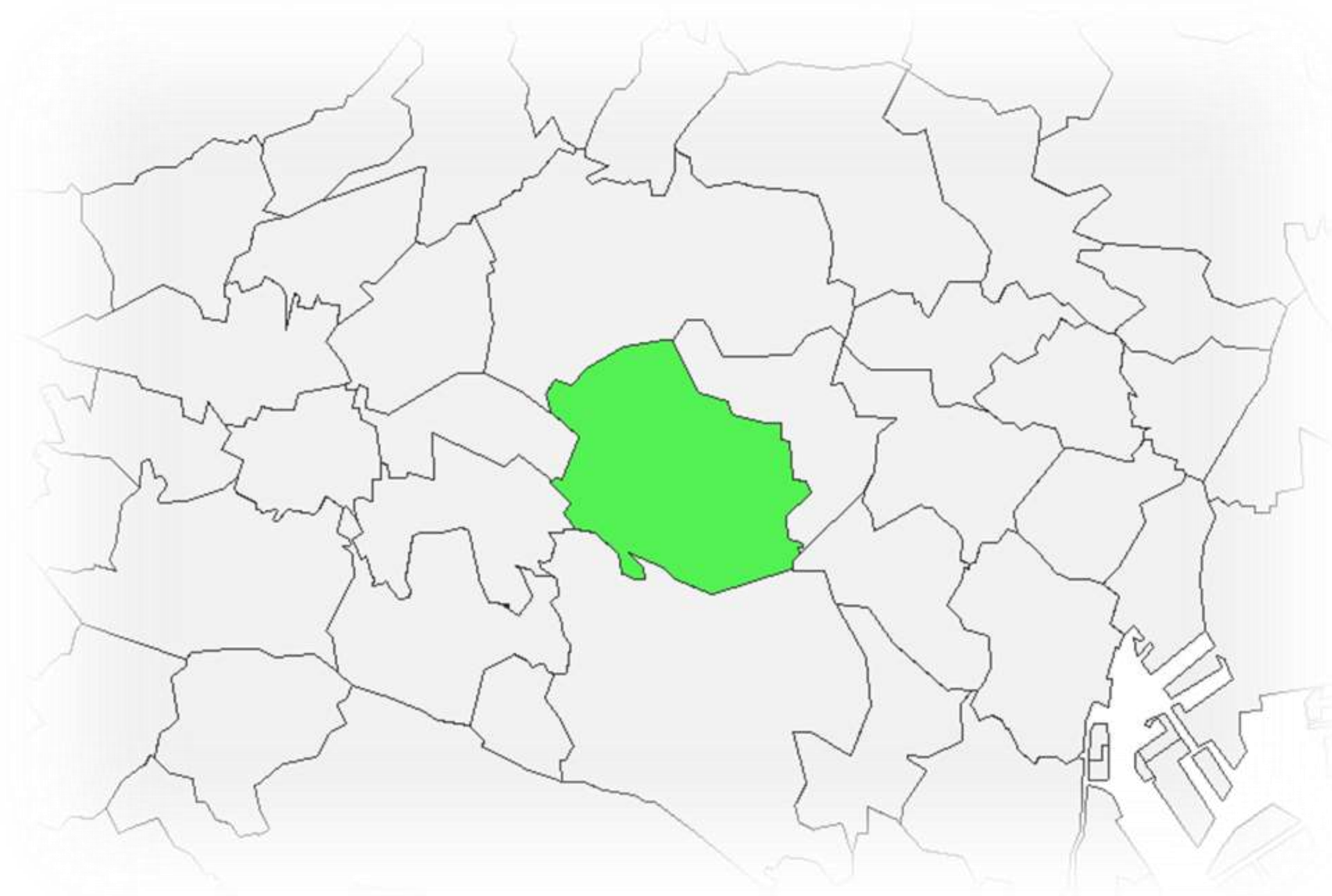




対象地区	区内全域		特定事業	公共交通特定事業	事業主体	小田急バス株式会社												作成（変更）年月日	令和7年5月8日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	調達方法	事業予定期間（年度）										進捗状況			
								計画	前期			中期			後期						
									R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇％」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）		
バス	教育啓発	地区内全域	「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」に基づく感染防止対策等の実施	随時			計画										3	継続	感染防止対策について緩和した。引き続き「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」に基づいた対応を行うよう教育する		
バス	教育啓発	地区内全域	乗務員を対象としたベビーカー利用者への接遇等の研修・教育の実施	年1回			計画										3	継続	高齢者・障害者およびベビーカー利用者の方々が安全で快適にバスを利用していただく為に入社時の机上教育や配属先の営業所における実車教育、更には年4回の乗務員講習会を通じて乗務員の意識向上に努めております		
バス	教育啓発	地区内全域	必要に応じ高齢者や障害者等を座席へ案内	随時			計画										3	継続	転倒事故防止の観点から、全乗務員が年4回受講する安全教育などで実施		
バス	車両	地区内全域	バス車内に筆談器具等の設置	全車両			計画										3	継続	全車両に筆談具を用意しております		
バス	車両	地区内全域	バリアフリー整備ガイドラインへの適合	全車両			計画										3	継続	全車両適合済み。 引き続き適合車両を導入していく		
バス	車両	地区内全域	ベビーカーの固定ベルトの導入	全車両			計画										3	継続	全車両にベビーカーの固定ベルトを用意しております		
バス	車両	地区内全域	リフト付バスまたはスロープ付きのバスの導入	全車両			計画										3	継続	リフト付きは、現在導入計画はありませんが全車スロープ付きです		
バス	車両	地区内全域	車いすスペースの確保及び固定方法の周知	全車両			計画										3	継続	全車両にスペースを確保し、全社員に固定方法の周知徹底を図っていく		
バス	車両	地区内全域	車いす使用者が利用しやすい降車ボタンの設置	全車両			計画										3	継続	全車両に設置済み。 引き続き導入車両に設置する		
バス	情報伝達	地区内全域	バスロケーションシステムの導入及びサービスの維持改善				計画										3	継続	・スマートフォンなどからの検索により、バスの到着時間等が確認できる【小田急路線バスナビ】による情報提供を引き続き実施していきます。 https://odakyu.bus-navigation.jp/wgsys ・高齢者などWEB検索が難しいお客さまが、バス路線や駅前の乗り場等が確認できる「バス路線図」を引き続き配布していきます。		
バス	情報伝達	地区内全域	ホームページ等を活用して、バリアフリー情報を周知				計画										4	未整備	ベビーカーをご利用されるお客様へのご案内のみ掲載		
バス	情報伝達	地区内全域	車内へポスター、ステッカーを掲示によるヘルプマークの普及及び啓発	全車両			計画										3	継続	継続的に実施していく		
バス	情報伝達	地区内全域	多言語化等のユニバーサルデザインに対応したバス停留所の案内表示				計画										4	未整備	限られたスペースのためどこまで対応出来るか検討を進める		
バス	情報伝達	地区内全域	聴覚障害者用の筆談器具を常備	全車両			計画										3	継続	導入車両に引き続き設置する		
事業実施に際して 配慮すべき重要事項		高齢者・障害者およびベビーカーを利用するお客様が安全、快適にバスをご利用いただくために、乗務員に対し入社時、入社6ヶ月、また入社1年時の机上教育、および配属先の営業所における実車教育、更には年4回の乗務員講習会を通じて意識の向上に努めております。 車両におきましても全車ノンステップバスで運行し、ベビーカーの固定ベルトおよび筆談具を用意しております。 ベビーカーのご乗車方法はホームページでご覧になれます。多言語化のユニバーサルデザインに対応したバス停案内表示等は区内でも2本の運行本数を考えますと難しいものになっております。																			

対象地区	区内全域		特定事業	公共交通特定事業		事業主体	関東バス(株)													作成（変更）年月日		令和7年4月24日	
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	調達方法	事業予定期間（年度）											進捗状況				
								計画	前期			中期			後期			1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇％」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）			
									R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13 以降						
バス	車両	関東バス	バス車内にコミュニケーションボードや筆談器具等の設置	全車両	—	—	計画										3	継続	全車両に設置済み（令和3年） 継続して維持していく				
バス	車両	関東バス	バス車内へのAED設置	—	—	—	計画										4	未整備	本社、各営業所にAED設置済み 車両への設置は現時点では難しく、引き続き検討をおこなう				
バス	車両	関東バス	バリアフリー整備ガイドラインへの適合	全車両	—	—	計画										3	継続	全車両適合済み 引き続き適合車両を導入していく				
バス	車両	関東バス	ベビーカーの固定ベルトの導入	全車両	—	—	計画										3	継続	二人乗りベビーカー用を含め、全車両に設置済み 継続して維持していく				
バス	車両	関東バス	ベビーカーを折りたたまずに乗車できる運用を実施	全車両	—	—	計画										1	完了	実施済み（二人乗りベビーカーは、ワンステップバスでは構造上、 折りたたみをお願いしています）				
バス	車両	関東バス	リフト付バスまたはスロープ付きのバスの導入	全車両	—	—	計画										3	継続	全車両に設置済み 引き続きスロープ付きの車両を導入していく				
バス	車両	関東バス	車いすスペースの確保及び固定方法の周知	全車両	—	—	計画										3	継続	全車両にスペースを確保し、全社員に固定方法を周知済 引き続き取り組んでいく				
バス	車両	関東バス	車いす利用者が利用しやすい降車ボタンの設置	全車両	—	—	計画										3	継続	全車両に設置済み 引き続き導入車両に設置する				
バス	車両	関東バス	全ての車両をノンステップバス車両に代替	全車両	—	自己資金、東京都補助金（だれにも乗り降りしやすいバス整備事業）他	実績										2	整備中	ワンステップバスを順次代替実施していく （現在82.9%がノンステップ車両、代替完了見込みは令和14年度以降）				
バス	情報伝達	関東バス	バスロケーションサービスの導入及びサービスの維持改善	随時	—	—	計画										3	継続	バスロケーションサービスは導入済み 引き続き維持改善を進めている				
バス	情報伝達	関東バス	ホームページ等を活用して、バリアフリー情報を周知	随時	—	—	計画										3	継続	ホームページにてバリアフリー情報を掲出している 引き続き周知を進めていく				
バス	情報伝達	関東バス	車内へポスター、ステッカーを掲示によるヘルプマークの普及及び啓発	適宜	—	—	計画										3	継続	継続的に実施していく				
バス	情報伝達	関東バス	多言語化等のユニバーサルデザインに対応したバス乗降場の案内表示	随時	—	—	計画										2	整備中	乗降するお客様の多いバス停から順次改善を進めていく				
バス	情報伝達	関東バス	分かりやすい行き先のアナウンスの実施	随時	—	—	計画										3	継続	お客様に分かりやすいアナウンスの実施を引き続き指導していく				
バス	心のバリアフリー	関東バス	「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」に基づく感染防止対策の実施		—	—	計画										1	完了	実施終了				
バス	心のバリアフリー	関東バス	乗務員を対象としたベビーカー利用者への接遇等の研修・教育の実施	随時	—	—	計画										3	継続	二人乗りベビーカーの取り扱いについて全社員を対象に研修を実施済 引き続きベビーカー取り扱い研修を適宜実施していく				
バス	停留所	関東バス	視覚障害者誘導用ブロック上における障害物等の除去	随時	—	—	計画										3	継続	バス停留所巡回時に状況を確認していく				
バス	停留所	関東バス	上屋やベンチを順次設置	随時	—	—	計画										3	継続	道路環境等を考慮し、必要と思われる箇所への設置を検討していく （令和6年度の新規設置はなし）				
バス	停留所	関東バス	道路管理者や交通管理者と連携し、バス停留所への違法駐車対策を実施	随時	道路管理者 （東京都・杉並区） 交通管理者 （杉並・高井戸・荻窪警察署）	—	計画										3	継続	乗降しやすい環境を維持するために、バス停留所付近への違法駐車車両を防止する取り組みを、随時行っていく				
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																							

対象地区	区内全域	特定事業	公共交通特定事業	事業主体	関東バス㈱	作成（変更）年月日	令和7年4月24日
整備状況							
事業内容	全ての車両をノンステップバスに代替			写 真			
実施箇所	全車両						
説 明	2024年度は、中型ワンステップバス4両を、中型ノンステップバスに4両に代替を実施。						

対象地区	区内全域		特定事業	交通安全特定事業		事業主体		杉並区（都市整備部管理課）										作成（変更）年月日		令和7年4月24日	
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況				
							前期			中期			後期								
						調達方法	計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）		
実績																					
交通安全	自転車安全利用 の推進	区内全域	区立小学校・中学校において自転車安全利用教室を実施し、自転車の交通ルール・マナーを啓発	40校（小） 7校（中）	区内3警察署（交通管理者） 教育委員会		計画										3	継続	区立小学校の4年生を主な対象として、自転車に乗りながら楽しく自転車のルールを習得できる自転車安全利用実技講習会を実施した。また、区立中学校の生徒又は地域の方を対象として、スタントマンによる交通事故再現型の自転車安全利用講習会（スケアード・ストレイト）を実施した。		
							実績														
交通安全	自転車安全利用 の推進	区内全域	交通管理者と連携し、街頭キャンペーンや講習会などの自転車安全利用啓発活動を実施	6回(講習会) 8回(街頭)	区内3警察署（交通管理者） 東京都		計画										3	継続	区内各所において、自転車の交通ルールの遵守や自転車の放置防止を広く呼びかける街頭啓発活動を実施した。また、区民や事業所等を対象として、自転車講習会を開催し、交通ルールの啓発を行った。		
							実績														
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																					

整備状況			
事業内容	区立小学校・中学校において自転車安全利用教室を実施し、自転車の交通ルール・マナーを啓発	写 真	
実施箇所	学校の校庭・体育館、杉並交通公園		
説 明	・区内警察署と連携し、区立小学校の4年生を主な対象として自転車の交通ルールや日常点検のポイント等を周知するとともに、運転スキルの向上を図るため、自転車安全利用実技講習会を実施した。 ・区立中学校の生徒又は地域の方を対象として、スタントマンによる交通事故再現型の自転車安全利用講習会（スケアード・ストレイト）を実施した。		
事業内容	交通管理者と連携し、街頭キャンペーンや講習会などの自転車安全利用啓発活動を実施	写 真	
実施箇所	荻窪駅、阿佐ヶ谷駅、高円寺駅周辺		
説 明	・商店会や区内警察署と協力して、商店街や駅前広場等で自転車安全利用キャンペーンを実施した。 ・区内警察署と連携し、民間事業所や高等学校等に区職員が出向いて自転車の交通ルール等を周知する「出前型自転車安全利用講習会」を実施した。		

対象地区	区内全域		特定事業	交通安全特定事業	事業主体	荻窪警察署										作成（変更）年月日	令和7年5月15日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況		
							前期			中期			後期						
						調達方法	計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）
実績																			
交通安全	道路標識	区内全域	道路標識の適切な維持管理	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
							実績												
交通安全	路上駐車防止	区内全域	巡回指導員による違法駐車取締の強化	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
							実績												
交通安全	路上駐車防止	区内全域	駐車場利用促進のための啓発活動・案内の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
							実績												
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	商店会・町内会等と連携した地域での啓発活動の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
							実績												
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	定期的な道路パトロールの実施	随時	道路管理者		計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
							実績												
事業実施に際して 配慮すべき重要事項		杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。																	

対象地区	区内全域		特定事業	交通安全特定事業	事業主体	杉並警察署										作成（変更）年月日	令和7年5月15日			
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況			
							調達方法	前期			中期			後期						
						計画		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）	
実績																				
交通安全	道路標識	区内全域	道路標識の適切な維持管理	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。	
							実績													
交通安全	路上駐車防止	区内全域	巡回指導員による違法駐車取締の強化	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。	
							実績													
交通安全	路上駐車防止	区内全域	駐車場利用促進のための啓発活動・案内の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。	
							実績													
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	商店会・町内会等と連携した地域での啓発活動の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。	
							実績													
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	定期的な道路パトロールの実施	随時	道路管理者		計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。	
							実績													
事業実施に際して 配慮すべき重要事項		杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。																		

対象地区	区内全域		特定事業	交通安全特定事業	事業主体	高井戸警察署										作成（変更）年月日	令和7年5月15日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況		
							調達方法	前期			中期			後期					
						計画		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済み」等、可能な限り詳細に記載）
交通安全	道路標識	区内全域	道路標識の適切な維持管理	管内全域			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
交通安全	路上駐車防止	区内全域	巡回指導員による違法駐車取締の強化	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
交通安全	路上駐車防止	区内全域	駐車場利用促進のための啓発活動・案内の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	商店会・町内会等と連携した地域での啓発活動の実施	随時			計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
交通安全	路上不正利用防止の推進	区内全域	定期的な道路パトロールの実施	月に1度	杉並区役所		計画												杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。
事業実施に際して 配慮すべき重要事項		杉並区バリアフリー基本構想に基づき、令和7年度に交通安全特定事業計画の策定を行う。その事業計画に基づき、事業を推進する。																	

対象地区	区内全域			特定事業	教育啓発特定事業	事業主体	杉並区（教育委員会 特別支援教育課）										作成（変更）年月日	令和7年5月2日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 (千円)	事業予定期間（年度）										進捗状況			
						調達方法	前期			中期			後期							
							計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 (進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載)	
実績																				
教育啓発		区内全域	交流・共同学習や副籍事業の推進	対象児の通う 都立・区立特別支援学校及び区立小中学校	区立学校・都立特別支援学校		計画										3	継続	各校同士の取り組みについて、ICTの活用をはじめ、より柔軟な取り組みを進めている。令和6年度は特別支援学校在籍の児童・生徒283名のうち、直接交流を76名、間接交流を48名が行いました。	
							実績													
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																				

対象地区	区内全域		特定事業	教育啓発特定事業	事業主体	杉並区（教育委員会 済美教育センター）										作成（変更）年月日	令和7年5月7日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況		
						調達方法	前期			中期			後期						
							計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇％」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）
実績																			
学校	教育啓発	区内全域	福祉副読本による学習の実施	小4、中1	区立学校		計画									3	継続	毎年3月頃、次年度に活用する福祉副読本のデータを作成し、区立学校に提供している。	
							実績												

事業実施に際して 配慮すべき重要事項	今日的な福祉課題を盛り込んだ指導資料となるように、内容については毎年改定する必要がある。
-----------------------	--

整備状況			
事業内容	福祉副読本「かけはし」の発行	写 真	
実施箇所	杉並区立学校		
説 明	・昭和58年度より、学校において福祉に関わる教育の取組が推進されるよう、福祉副読本「かけはし」を全区立学校へ配布し、福祉に関わる教育の充実を図っている。 ・「かけはし」は、学校において道徳の時間の読み物資料や、社会科や総合的な学習の時間における調べ学習の情報源として授業において活用されている。 ・「かけはし」を用いた学習は、児童・生徒一人ひとりが福祉について理解を深め、誰もが幸せな共生社会の実現のために自分自身はどう行動したらよいかを考えるきっかけとなっている。		

対象地区	区内全域			特定事業	教育啓発特定事業	事業主体	杉並区（障害者施策課）										作成（変更）年月日	令和7年4月18日	
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況		
						調達方法	前期			中期			後期						
							計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）
実績																			
教育啓発		区内全域	共生社会しかけ隊による合理的配慮の提供を図る取組の実施	随時	杉並区医師会 日本障害者協議会 区施設など		計画										3	継続	令和6年度は4月の差別解消法の改正により、障害者への合理的配慮が全国で義務化された。この機会に合理的配慮をわかりやすく説明したガイドブックを作成した。本冊子の内容は、これまで実施した意見交換会や作成したヒント集の考え方をベースとし、日本障害者協議会代表の藤井克徳氏の監修で作成した。 また、医療機関で活用できるヒント集を作成した。作成にあたり、障害当事者や支援者などに医療機関を利用した時によかったと感じたことなどのアンケートを行った。アンケートの回答をヒント集の要素とし、杉並区医師会の協力により作成した。 令和7年度はこれまで作成した冊子を広く周知するとともに、合理的配慮に関する講座等を共生社会しかけ隊を中心に実施していく。
							実績												
教育啓発		区内全域	障害理解を深めるため、区職員を対象としたワークショップ形式の研修会を実施	随時			計画										3	継続	令和6年度はR7.1.28に「障害者への合理的配慮を考える」をテーマに係長向け職層研修を実施した。 令和7年度以降は引き続き職層研修の実施を検討する。
							実績												
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																			

対象地区	区内全域			特定事業	その他の事業	事業主体	杉並区（保健福祉部管理課）										作成（変更）年月日	令和7年5月8日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 （千円）	事業予定期間（年度）										進捗状況			
						調達方法	前期			中期			後期							
							計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中		3：継続 4：未整備	
実績																				
情報伝達	心のバリアフリー	区内全域	すぎナビを活用したバリアフリーマップの普及と充実	随時	-		計画										3	継続	・心のバリアフリー協力店登録店舗への通知やイベントでのチラシの配布時、バリアフリーマップの情報を掲載し普及啓発を実施 ・心のバリアフリーの取組やバリアフリーマップについて、他自治体の状況を調べるとともに、関係所管課と連携して、心のバリアフリーやバリアフリーマップの機能充実	
							実績													
情報伝達	心のバリアフリー	区内全域	ポスター等を活用した心のバリアフリーに関する情報発信	随時	-		計画										3	継続	・区立施設及び区内掲示板に心のバリアフリー啓発ポスター「ヘルプマークを知っていますか？」及び「聞こえに障害がある方への理解を深めましょう」を掲示	
							実績													
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																				
整備状況																				
事業内容	ポスター等を活用した心のバリアフリーに関する情報発信					写 真														
実施箇所																				
説 明	啓発ポスター「ヘルプマークを知っていますか？」を区立施設や掲示板に掲示するとともに、新たに聞こえに障害がある方への理解を深めるためのポスターを作製し、心のバリアフリーの理解・促進のための啓発を行った。 令和7年度も掲示を行い、啓発を行う。																			

対象地区	区内全域			特定事業	その他の事業	事業主体	杉並区（障害者施策課）										作成（変更）年月日	令和7年5月1日		
カテゴリー	分類	整備対象	事業内容	実施頻度 箇所数 延長等	関係機関	事業費 (千円)	事業予定期間（年度）										進捗状況			
						調達方法	前期			中期			後期							
							計画	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降	1：完了 2：整備中	3：継続 4：未整備	具体的な実施内容や変更点、進捗状況 関係機関との協議状況 （進捗は「進捗率〇〇%」「△△/〇〇箇所実施済」等、可能な限り詳細に記載）	
実績																				
情報伝達		区内全域	「障害福祉のしおり」や「の～まらいふ杉並」による 障害のある方等への生活支援情報等の発信	随時 ※「障害福祉 のしおり」は 3年に1回作 成			計画										3	継続	「障害福祉のしおり」はユニボイスを各ページに付して3年に1度発行している（前回の発行は令和4年度）。令和6年度は、7月に新旧一覧を作成し関係課等へ配布したほか、ホームページに掲載した。 「の～まらいふ杉並」はウェブアクセシビリティに配慮し、必要に応じて随時情報を更新した。	
							実績													
事業実施に際して 配慮すべき重要事項																				